

2026 年 9 月 17 日

報道関係各位

ツムラ代表取締役社長 CEO と養命酒製造代表取締役社長 駒ヶ根市長を表敬訪問

～養命酒製造がツムラグループに 養命酒のふるさと・駒ヶ根から新たな一歩～

株式会社ツムラ（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：加藤照和、以下ツムラ）は、2026 年 9 月 1 日付で、養命酒製造株式会社（本社：東京都渋谷区、以下養命酒製造）の全株式を取得しました。これに伴い、9 月 14 日、ツムラ代表取締役社長 CEO の加藤照和と、養命酒製造代表取締役社長の中川 恭（ツムラ執行役員 ヘルスケアカンパニープレジデント兼任）が長野県駒ヶ根市を訪問し、伊藤市長に対して養命酒製造のツムラグループ参画についてご報告するとともに、今後の連携や地域活性化に向けた取り組みについて意見交換を行いました。



左から養命酒製造株式会社代表取締役社長中川、駒ヶ根市 伊藤市長、ツムラ代表取締役社長 CEO 加藤

自然と健康を科学する

お問い合わせ先

株式会社ツムラ コーポレート・コミュニケーション部 広報課 担当：林、高松

〒107-8521 東京都港区赤坂 2-17-11 TEL.03-6361-7100 shuzai@mail.tsumura.co.jp

■表敬訪問の目的と背景

「養命酒 駒ヶ根工場」は、長野県駒ヶ根市の標高 800mの高原に位置する、養命酒製造唯一の生産拠点です。生薬を原酒に浸け込んで造る養命酒にとって、山々が育む豊かな水や高原ならではの気候風土、そしてアルプス山脈の麓に広がる雄大な自然環境を有する駒ヶ根市は、まさに“養命酒のふるさと”といえる場所です。

ツムラは、2026年9月1日付で養命酒製造の全株式を取得^{※1}し、同社はツムラグループの一員となりました。今回の表敬訪問は、養命酒製造が新たな一歩を踏み出したことをご報告するとともに、今後の連携や地域との共創に向けた考えをお伝えするため、駒ヶ根市の伊藤市長を訪問したものです。

※1：養命酒製造株式会社の株式取得完了に関するお知らせ（開示事項の経過報告）について
<https://www.tsumura.co.jp/news/newsrelease/item/20260901.pdf>

■当日の概要

訪 問 日：2026年9月14日（月）13:00～14:00

訪 問 先：駒ヶ根市役所 大会議室

出 席 者：駒ヶ根市 市長 伊藤 祐三 様

株式会社ツムラ 代表取締役社長 C E O 加藤 照和

養命酒製造株式会社 代表取締役社長 中川 恭

養命酒製造株式会社 取締役執行役員 田辺 章二

養命酒製造株式会社 取締役執行役員 林 克彦

養命酒製造株式会社 取締役執行役員 小林 薫

養命酒製造株式会社 執行役員 太田 輝穂

- 式 次 第：
1. 開会、出席者紹介
 2. 代表挨拶
 3. 写真撮影
 4. 懇談
 5. 表敬訪問終了後のインタビュー・囲み取材等

■当日の様子

当日は、出席者紹介と代表者挨拶に続き、ツムラ代表取締役社長の加藤より、養命酒製造が当社グループの一員となった背景や今後の展望について伊藤市長へご報告しました。その後記念撮

影を行い、懇談を設けました。懇談では、駒ヶ根市と養命酒製造との関わりや地域活性化に向けた取り組みについて意見を交わしたほか、今後の展望や連携の可能性についても活発な意見交換が行われました。終始和やかな雰囲気の中で、相互理解を深める有意義な機会となりました。

■代表者によるコメント（一部抜粋）



ツムラ代表取締役社長 CEO
加藤 照和

養命酒製造が展開する薬食同源の考え方に基づく養生製品には、当社が大切にしている価値観や目指す方向性との高い親和性を感じています。両社には共通する理念や価値観があり、今後の連携には大きな可能性があると考えています。また、駒ヶ根工場は優れた設備と豊かな自然環境を備えた魅力的な拠点です。リニューアルした「養生の森」についても、「養生の聖地」としてその価値を広く発信しながら、地域の皆様により一層親しまれ、愛される場所へと育てていきたいと考えています。



駒ヶ根市 伊藤市長

地域を代表する企業である養命酒製造がツムラグループの一員となったことを、大変心強く感じています。また、「養生の森」へのリニューアルを通じて、その魅力や価値がさらに高まり、多くの方々に親しまれる場となることを期待しています。駒ヶ根市は年間を通じて多くの方々に訪れていただいています。さらなる発展の可能性を有している地域でもあります。今後、ツムラ、養命酒製造、駒ヶ根市の三者が連携し、「地域づくり」と「健康づくり」をテーマとした取り組みを進めることで、地域の活性化と新たな価値創出につながることを期待しています。

■ツムラの取り組みについて

ツムラグループは、長期経営ビジョン「TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031」で掲げる「治療・未病・養生」の実現に向け、漢方・生薬を通じて健康と向き合ってきました。養命酒製造は、長年にわたりアルプス山脈の麓に広がる豊かな大自然を持つ駒ヶ根市に根を張り、地域の自然や生薬文化と深く関わりながら事業を展開してきました。医療用漢方製剤を強みとするツムラと、ヘルスケア製品に強みを持つ養命酒製造の知見や技術事業基盤を活かし、未病・養生領域での健康支援機能をこれまで以上に強化することで、新たな健康価値の創出を目指していきます。

以上

■ 養命酒製造株式会社について

事業内容：薬用養命酒及び健康食品の製造販売

設立：1923年6月20日



「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念のもと、「薬用養命酒」を中心に、医薬品、健康食品などの製造・販売を行っています。長年培ってきた生薬に関する知見を活かした研究開発を推進し、人々の健康維持や生活の質の向上を支えるとともに、「養生」の考え方を通じて、すこやかで豊かな暮らしに貢献しています。

<https://www.yomeishu.co.jp/>